

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社（証券コード：ー）

### 【クレジット・モニター指定】

長期発行体格付	AA	→	#AA/ネガティブ
債券格付	AA	→	#AA/ネガティブ
発行登録債予備格付	AA	→	#AA/ネガティブ

### ■格付事由

- (1) 当社は、三井住友トラストグループにおけるリースを中心とする総合ファイナンス会社で、グループの中核である三井住友信託銀行（SMTB）の連結子会社、かつパナソニック ホールディングスの持分法適用関連会社である。SMTBは当社の議決権の84.9%を有することに加え、社長を含む複数名の取締役を派遣するなど、当社に対する関与度は強い。また、グループ唯一の総合ファイナンス会社として、SMTBにはない機能を有し、コアビジネスであるホールセールビジネスや不動産ビジネスを支える位置づけにあることから、グループにおける経営的重要度は高いとJCRはみている。
- (2) SMTBは、3月30日、芙蓉総合リース、横浜フィナンシャルグループとともに当社の資本再編を行い、共同事業化することについて基本合意した。SMTBは議決権比率を84.9%から45%に引き下げ、持分法適用関連会社化し、芙蓉総合リース、横浜フィナンシャルグループは議決権の40%、15%を保有する想定である。これらにより当社の経営の自由度を高め、事業領域を拡幅することを目指すとしている。株式譲渡の実行日は26年10月1日で、当社は社名を変更する予定である。
- (3) 当社の長期発行体格付は、三井住友トラストグループの信用力「AA」相当と同等としている。資本再編により、SMTBの当社への関与度が低下する可能性があるため、長期格付を見直し方向「ネガティブ」のクレジット・モニターに指定した。もっとも、当社は三井住友トラストグループにおける唯一の総合ファイナンス会社で、戦略的・機能的な重要性に変化はないとJCRはみている。SMTBは引き続き当社の筆頭株主であるなど、資本再編後も当社の経営への一定の関与は継続する見込みであることから、格下げとなる場合も1ノッチにとどまる可能性が高いとみている。そのため、短期発行体格付と国内CP格付については、クレジット・モニターに指定していない。共同事業化の詳細については、新株主三社および関係当事者において協議を進めていくとしており、SMTBの当社への関与度や財務面での支援姿勢などを確認し、格付に反映させていく。

（担当）加藤 厚・青木 啓

■格付対象

発行体：三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社

【クレジット・モニター指定】

対象	格付
長期発行体格付	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2018年10月25日	2028年10月25日	0.494%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第8回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2019年10月25日	2029年10月25日	0.290%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	50億円	2021年10月21日	2026年10月21日	0.150%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	92億円	2022年10月21日	2027年10月21日	0.470%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第13回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	144億円	2023年10月20日	2028年10月20日	0.648%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2024年4月19日	2027年4月19日	0.574%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）	300億円	2024年9月19日	2029年9月19日	0.855%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200億円	2025年7月10日	2028年7月10日	1.188%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2025年7月10日	2032年7月9日	1.630%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	270億円	2026年2月16日	2031年2月14日	2.082%	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,000億円	2024年8月23日から2年間	#AA/ネカ <sup>o</sup> ティブ <sup>o</sup>

【参考】

短期発行体格付：J-1+

国内CP格付：J-1+

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年3月31日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：宮尾 知浩  
主任格付アナリスト：加藤 厚
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「リース」(2025年2月7日)、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO(Nationally Recognized Statistical Rating Organization)の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル